

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	林田 健祐

開催日時	令和4年 6月2日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	澁谷栄作 委員、余部信也 委員、井上 洋 委員、前田 浩 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席1名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 学校運営協議会委員紹介【事務局】	2 学校運営協議会要項、会長・副会長選出【事務局】
3 令和4年度 学校経営計画について【校長】	4 進路状況について【進路指導部】
5 生活指導について【生活指導部】	6 保護者からの意見書について【事務局】
	7 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>2 学校運営協議会の趣旨説明、会長選出【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田委員を会長に推薦、西崎委員を副会長に指名。賛成多数で承認 <p>3 令和4年度 学校経営計画案【学校長】</p> <p>令和4年度 学校経営計画案について、出席委員の全会一致で承認。</p> <p><u>各委員からのご意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社においても聴覚障がいのある方もめ事が起きている。手話でのやり取りによる行き違いもある。健聴者が常識と思っていることでも抜けがある。互いの立場を思いやる事や自分から情報を取りに行こうとする姿勢も重要。そのあたり学校でも扱っていただければありがたい。 ・聴覚障がい者は白黒つけたものの言い方が多い。子どものころからそれに慣れてしまう。人間関係はあいまいなやり取りが相手への思い やりになっている。そのあたりも教えていく必要がある。 ・手話言語条例ができて堺市でもあいさつの中に手話を取り入れる場面が増えている。子どもたちが安心して笑顔で学校に通うことができるように応援したい。 ・会社に入ってから他障がい種の人とのトラブルが起きるケースがある。他障がい種の人と交流して優しい言葉かけなども勉強したらよい。 ・会社に入ることがゴールではなく、そこから主任になるなどマネジメント業務が始まる。入社してからも成長し続けられる教育を考えていただければありがたい。 ・めめ事の一つとして社内で起きているのが男女間のトラブル。高校生の中に基本的な部分の指導が必要ではないか。 <p>4 進路状況について【進路指導部長】</p> <p>生活指導について【生活指導部主任】</p> <p>その他</p> <p><u>各委員からのご意見</u></p> <p>工業テクノロジー科の実習設備について、必要なものを必要な所へぜひ整備していただきたい。物づくり・製造業は日本の産業を支えている。事務職では定着できなくても物づくりの現場で馴染む人もいる。学科で機械や学習に触れることがなければ、経験しないままになり、日本の物づくり分野に就く人が減ってしまう。</p> <p>6 保護者からの意見書について【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出はなし 	

次回の会議日程	
日時	令和4年11月10日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室